

SHINWA SC-905GII・SC-905G GB

ツァ-7° TC-1

サソスイ TX-99

(640CH・800CH)

**HOLD** + **M** = これでスペシャルスタート!

**HOLD** + **1** = 表示の左が **1** ノーマルバンド

**HOLD** + **2** = 表示の左が **2** ダウンバンド

**HOLD** + **3** = 表示の左が **3** ダブルダウンバンド

**HOLD** + **4** = 表示の左が **4** トリプルダウンバンド

**HOLD** + **5** = 表示の2番目が **5** ATIS信号カット

**HOLD** + **6** = 表示の3番目が **6** スペシャルサーチ

**HOLD** + **7** = 表示の4番目が **7** 空きチャンネル探し

**HOLD** + **8** = プライベートモード (GII・GBの800のみ)

**HOLD** + **9** = 動作音 大

**HOLD** + **0** = 動作音 小 (2度目で消音)

**HOLD** + **C** = ハイスピードスキャン

**HOLD** + **MON** = ロースピードスキャン

**HOLD** + **CQ** = 表示の右が **1** ハーフモード (1/2CH77°)

**HOLD** + **M** = 表示の右が 消えるハーフモード解除

**HOLD** + **HOLD** = 群番号の吸い取り

**HOLD** + **REMOTE** 又は **CALL** = 完全ノーマル (メモリー0が消される)

**HOLD** のキー入力の持ち時間を **REMOTE** により短縮出来ます。

## ☆☆☆ 物々 TX-99の機能キー ☆☆☆

M	→	記 憶	→	消 去
C Q	→	一般呼出	→	待 機
CALL	→	再 呼	→	モニター
HOLD	→	ホールド	※ GII・GBには関係ありません。	

REMOTE		リセット中		10個のメモリー切替と待受
		モニター中		-1CHダウンモニター
		モニタースキャン中		バンド切替 N→D→WD
		通話中		リコール (押している間中)
		送信中		" "
		HOLD入力時		完全ノーマル (安心ロック)

END		リセット中		+1CHアップモニター
		モニター中		リセット
		モニタースキャン中		スキャンストップ
		通話中		リセット

(N→ノーマルモード D→ダウンモード WD→ダブルダウンモード)

CALL		リセット中		前回使用のCHへ呼び出しを行う
		モニター中		リコールを打ちそのCHで通話となる
		モニタースキャン中		バンド切替 N→D→WD
		通話中		リコール
		HOLD受付中		完全ノーマル

1. HOLD+XXでスペシャル機能の設定ができます。  
リセット状態でも、モニター状態でも、通話中でも、設定、解除が出来ます。
2. HOLD+MRで、スペシャルモードになります。以下の機能がセットされます。
  - A. 相手のATIS信号を受信すると、群番号を自動的に表示します。
  - B. 送信及び受信の時の5分タイマーはなくなります。したがって5分経ってもリセットしません。
  - C. "00000"でも、リコール出来ます。
  - D. リコールは、通話状態中、送信中でも、受信中でも、マイクのREMOTEスイッチを押している間、連続して呼び出しをします。

- E. リセット、又はモニター中、マイクのEND REMOTEでチャンネルのアップ、ダウンが出来ます。  
ENDは、リセット、モニターを繰り返しながらアップします。  
REMOTEは、MON中1CHずつダウンします。
- F. モニター状態から、マイクのPTTを押す事により、通信可能です。  
また、以降は、通話状態となります。
- G. 特殊群番号が設定できます。群番号を打ち込むとき、CにつづくCのキーは、表示されない数字となります。G IIの特殊群番号と共通です。

[例]

群番解読 C + CCCCC 中抜け群番 C + 1C1C1

\*\*\* 特殊群番同士の、呼出、リコールが出来ます。 \*\*\*

- H. メモリーした群番号を表示し、使用するには、リセット中に、マイクのREMOTEによりできます。また、モニター中、通話中には、キー操作により行います。

[例]

M + 2 メモリー2に記憶された群番号を表示する。

以後、自局の送信群番号になる。1局～8局待ち受けが出来ます。  
群番号を記憶し、メモリー1からメモリー8に待ち受けしたい群番号を記憶し、メモリー8を表示させます。また、メモリー4を表示させれば、メモリー1～4の待ち受けになります。同時に、自分の好きな数だけ、待ち受け数を設定できます。

- J. 呼び出し、リコールを行っている全ての局を待ち受け出来ます。  
メモリー9を表示させればセットされます。また、メモリー0を表示させると、待ち受けなしとなります。
- K. キー入力により、チャンネルを設定できます。

[例]

C + 5 + 0 + MON = 50CHに移り、受信します。

- L. CQを押すことにより、チャンネルを表示できます。リセット中は前回使用したチャンネルを表示します。左端の数字は、現在のバンドを示しています。

- 3. HOLD+1～4は、通話するバンドを決めます。キー入力すると、表示の左端の数字がセットした状態を表します。チャンネル表示中も、表示します。

HOLD + 1 = 1 (ノーマルバンド)

- 1は ノーマルバンド 903～905MHz
- 2は ダウンモード 901～903MHz
- 3は ダブルダウンモード 899～901MHz
- 4は トリプルダウンモード 897～899MHz
- 8は プライベートモード 895～897MHz (解除は2回操作)

4. HOLD+5はPTTを握ったとき、離れたとき、1分に1回のATIS信号を止める機能です。1回目でセット、もう1回で解除です。セットしてもリコールは出来ます。

HOLD + 5 = 1 5 セット 1 解除

5. HOLD+6は、モニターサーチの時、自分の群番号と相手の群番号が合っているかを見ながらスキャンします。1局～8局待ちのまま出来ますのでグループ探しに便利です。

1回目でセットもう1回で解除です。3桁目に“6”と表示します。

HOLD + 6 = 1 6 セット 1 解除

**注意** 群番号が一致しますと、自動的にその群番号に切り替わりますので、待ち受け数が変わります。もう一度サーチするときは、メモリーの待ち受け数をセットしてください。

6. HOLD+7は、空きチャンネルをサーチして探す機能です。セットしてモニタースキャンさせると空いているチャンネルで止まります。

1回目でセットもう1回で解除です。4桁目に“7”と表示します。

HOLD + 7 = 1 7 セット 1 解除

**注意** 遠くで使用している場合や、ブレイクタイムの時に、たまたま止まる場合があります。一旦、止まった場合、MONキーで再度スタートします。

7. HOLD+5～7は、全部セットしておくこともできます。又、必要なものだけでも構いません。例として、HOLD+6と、HOLD+7をセットし待ち受けなしにしてスキャンをさせると、空きチャンネルで長くストップするので、空きチャンネル探しに非常に便利です。

8. HOLD+HOLDは、相手の群番号を自分のメモリーに記憶する機能です。いちいち群番号を相手の群番号に打ち替える必要はありません。コピーしたい群番号が表示したとき操作します。

HOLD + HOLD (群番表示に戻ると) 相手の群番

**注意** 相手の群番は、使用中のメモリーにコピーされますので、そのメモリーを消したくない場合は、消してもよいメモリーに切り替えてから、操作してください。キーボードから打ち込めない特殊な群番号でもコピーできます。

9. HOLD+CQで、ハーフチャンネルとなります。表示の右端が1となります。通常のチャンネルより1/2CHアップします。HOLD+Mで戻ります。表示の右端が消えます。

HOLD + CQ = 1 1 (ノーマルモードでハーフチャンネル)

HOLD + [ ] = 1 (ノーマルモードでノーマルチャンネル)

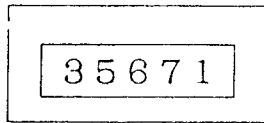
10. 送受信できる。トータルチャンネル数は、  
 $80 \times 2 \times 4 - 8 = 632 \text{ CH}$   
 ハーフ ↓ 制御CH  
 モード数

11. HOLD+Cでモニタースキャンのスピードが早くなります。また、キー入力の待ち時間も短くなります。HOLD+MONで戻ります。表示には変化がありませんが、キー受付の動作音が短くなりますので、それにより設定してください。

12. HOLD+0で、動作音が小さくなります。もう一度で、動作音が消えます。HOLD+9で、戻ります。表示には変化がありませんので、音により設定してください。

13. HOLDを1回押すことにより、設定状態が確認できます。

[例]



↑↑↑↑↑ ハーフモード  
 | | | | | 空きチャンネルサーチ  
 | | | | | スペシャルサーチ (群番探し)  
 | | | | | ATIS 送信しない (カット)  
 | | | | | Wダウンモード (899~901MHz)

14. 送信中は、自局の群番号を表示します。

15. 送信から受信に切り替わった直後は、現在使用中のメモリーNo.を表示します。

16. リセットからPTTにより呼出をした直後は、チャンネルを表示します。

17. リセット中は、呼出、リコールを行っている群番号を表示します。なお、この状態でも群番コピーが出来ますので、例えば、何度もリコールしている局がいて (群番を見ているとわかる) どんな局長、クラブなのか受信したい時にはHOLD+HOLDで群番を吸い取り、呼出を受け付けます。

18. カートリッジROM (免許番号ROM) が装着されていない場合、ノーマル時には送信できません。免許証は必ず申請してからご使用ください。

19. HOLD+REMOTEで、完全ノーマルとなります。この時、メモリー0は消去されます。再度スペシャルにするには、メモリー0へあなたの暗証番号を入力してください。暗証番号が分かりませんと、スペシャルになりません。

20. HOLDキー入力の際、キー入力を待っている時間は、RESETにより短縮できます。